

はじめにお読みください（内蔵LT07ユニット）

このたびは、弊社の内蔵 LT07 ユニット(LT0-7 Half-Height SAS Tape Drive) (以降、本製品)をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

富士通株式会社

2016 年 10 月

1 ご使用の前に

安全上の注意

- 異物(水・金属片・液体など)が本製品の内部に入った場合は、すぐにサーバ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから取り外してください。その後、修理相談窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。感電・火災の原因となります。
- 本製品をお客様自身で分解・解体・改造しないでください。感電・火災の原因となります。
- お使いのサーバ本体の『安全上の注意およびその他の重要情報』または『安全上のご注意』を合わせてお読みください。『安全上の注意およびその他の重要情報』、『安全上のご注意』には、安全にお使いいただくための注意事項が記載されています。

本製品の取り扱いについて

- 寒い場所から暖かい場所に移動したり、室温を急に上げたりした直後は、内部が結露する場合がありますので、使用しないでください。結露したままお使いになると、本製品やデータカートリッジを損傷することがあります。大きな温度変化があったときは、1 時間以上待ってから電源を入れてください。
- 本製品にセットされたデータカートリッジ（磁気テープ媒体）は、データ記録面が装置内部で露出しており、設置環境(特に塵埃)の影響を受けやすい傾向があるため、ホコリの少ない環境への設置をお願いします。一般的に、床面に近いほど塵埃濃度は高くなるので、机上など床面より離れた場所への設置をお勧めします。
- データカートリッジを入れたまま本製品を持ち運ばないでください。
- データカートリッジを挿入時、無理に押し込まないでください。
- 本製品前面の汚れは、柔らかい布でからぶきするか、布に水または中性洗剤を含ませて、軽くふいてください。ベンジンやシンナーなど揮発性のものは避けてください。

2 添付品がそろっていることを確認してください。

PY-LT711/PYBLT711 の添付品

- 内蔵 LT07 ユニット *1
- クリーニングカートリッジ
- 保証書 *2
- ネジ [一式] *1
- 内蔵 SAS ケーブル [一式] *1
- 富士通バックアップデバイスの情報／Relevant Information for Fujitsu Backup Devices
- オプション製品に関するユーザ情報 *3

- *1：カスタムメイド型名[PYBLT711]の場合は、サーバ本体に組み込まれています。
- *2：カスタムメイド型名[PYBLT711]の場合は、サーバ本体の保証書に含まれます。
- *3：一般型名[PY-LT711]の場合のみ添付されています。

3 マニュアル／デバイスドライバの入手先

本製品の「マニュアル」「デバイスドライバ」は、以下の公開サイトから入手可能です。

- ・デバイスドライバ：<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>
- ・マニュアル：<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/>

4 本製品の搭載、接続について

- 装置の破損を防止するため、静電気対策を施してください。
- 本製品をご使用になる場合は、サーバ本体、PRIMERGY SX05 S1 バックアップキャビネット(SAS)など、搭載する装置の『オペレーティングマニュアル』または、『アップグレード&メンテナンスマニュアル』または『オプションガイド』などのマニュアルに従って搭載してください。
- 搭載する装置のアップグレード&メンテナンスマニュアル等のドキュメントに、本製品の搭載／接続方法が記載されていない場合は、『内蔵 LT07 ユニット(PY-LT711 / PYBLT711) FUJITSU Server PRIMERGY へ搭載時の補足情報（アップグレード&メンテナンスマニュアル補足資料）』または、ドキュメントの LT06 の搭載／接続方法を参照してください。
- サーバ本体やバックアップキャビネットで取り付けネジの指定がない場合は、本製品に添付のネジをご使用ください。（指定以外に取り付け方法／ネジによる取り付けを行った場合、本製品を破損する恐れがあります。）

5 デバイスドライバについて

● デバイスドライバの入手

本製品のデバイスドライバは、ServerView Suite または以下の公開サイトから入手可能です。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

● デバイスドライバのインストール

■ バックアップソフトウェアをご使用の場合

バックアップソフトウェアの指示に従ってください。

■ Windows の場合

デバイスドライバの適用方法は、「オペレーティングシステムのバージョン」、「バックアップソフトウェア」によって異なります。バックアップソフトウェアをご使用の場合はバックアップソフトの指示に従ってください。

- Windows Server 2012 / Windows Server 2012R2 で本製品をご使用になる場合は、デバイスドライバのインストールが必要です。『install_nonexclusive.exe』を実行し、インストールしてください。

■ Linux の場合

LINUX ベースのオペレーションシステムをご使用の場合は、ドライバインストールは不要です。

6 バックアップソフトウェアについて

本製品をサポートするバックアップソフトウェアに関する情報は、以下を参照ください。

- ・Arcserve をご利用になる場合
<http://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/>
- ・NetVault Backup をご利用になる場合
<http://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/netvault/>
- ・Symantec Backup Exec をご利用になる場合
<http://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/veritas/products/bews/technical/>

7 使用できるカートリッジについて

本製品には、次の富士通純正品を使用されることをお勧めします。

品名	商品番号	購入 単位	備考
Ultrium5 データカートリッジ [注 1]	0160340	1 巻	容量 1500GB [注 2]
Ultrium5 WORM データカートリッジ [注 1]	0160345	1 巻	容量 1500GB [注 2]
Ultrium6 データカートリッジ	0160350	1 巻	容量 2.5TB [注 2]
Ultrium6 WORM データカートリッジ	0160355-P	20 巻	容量 2.5TB [注 2]
Ultrium7 データカートリッジ	0160360	1 巻	容量 6.0TB [注 2]
Ultrium7 WORM データカートリッジ	0160365-P	20 巻	容量 6.0TB [注 2]
Ultrium1 クリーニングカートリッジ U	0160280	1 巻	ユニバーサルクリーニングカートリッジ

注 1：読み取りのみ対応しております。書き込みはできません。

注 2：データ圧縮機能を使わない場合の値です。

記憶容量は、1GB=1000×1000×1000byte, 1TB = 1000×1000×1000×1000 byte 換算です。

【お問合せ先】

上記の富士通純正品は、富士通コワーコ株式会社の取り扱い品です。

富士通コワーコ株式会社 お客様総合センター (<http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/>)

電話:0120-505-279

ご利用時間:月曜日～金曜日 9:00～17:30(土、日、祝日、年末年始を除く)

また、データカートリッジの取り扱いについては、上記ホームページ内の「サプライ商品」→「データメディア」→「LTO テープ」の『LTO Ultrium カートリッジテープ説明書』もあわせてご覧ください。

8 本製品のクリーニング

本製品のヘッドクリーニングは、次の場合に行ってください。

- ・本製品前面パネルの 1 文字ディスプレイに大文字の「C」が表示されたとき
- ・定期的なヘッドクリーニング(3 ヶ月に 1 回)

クリーニングは、本製品に Ultrium1 クリーニングカートリッジ U を挿入することで自動的に開始されます。